

れていますか。				い、研修内容を伝達して、職員間で共有する。			になったが、オンラインによる研修が整備されてきたので、研修案内の周知をする。			・感染症対策も考慮しながら、研修方法を工夫していく。
7 専門性を高めるために、校務分掌や委員会などが組織体として機能していますか。		⑬ケース会議、授業研究、各学部及び寄宿舍における研修が、視覚障害研究・研修部が持つ専門性と連動して行われ、効果を上げていると感じる職員が80%以上いる。	教頭 研修部・ 自立活動 グループ	○授業改善計画の改定を行い、専門性を深めるための視点を持った教員相互の授業参観を確実に実施する。 ○視覚障害研究・研修部の専門性を各学部及び寄宿舍における実際の指導・支援に生かせるように情報共有を積極的に行う。	A 質問9 86.3%		・授業観察の視点を整理し、生徒の主体的な活動を意識した教員相互の授業観察を実施している。 ・指導の記録やケース会議、保護者面談等を通して、幼児児童生徒の実態や保護者の要望を把握し、係と連携して指導できるようにする。	A 質問9 97.6%		・生徒の主体性を引き出すことができるように、授業相互参観や教科別授業研究会等を定期的に行い、授業改善を進めたい。また授業アンケートの意見等も生かしていきたい。 ・本校児童生徒への実践事例をおとした指導・支援を考察する研修を継続する。
		⑭学校評価による改善の取り組みが校務分掌と連携して進められていると感じる職員が80%以上いる。	教頭	○評価結果を分析し、担当の分掌で改善策を検討し、具体的な改善に繋げる。	A 質問10 96.0%		・結果を職員全体で共有し、担当分掌を中心に具体的な改善を図っていく。	A 質問10 94.0%		・各分掌会議において、実情と改善に向けた対策案を検討し共有する。
		⑮幼児児童生徒一人ひとりのニーズに応じた教育計画を立てる上で、校内教育支援導委員会が機能していると感じる職員が80%以上いる。	教育支援 委員会	○校内教育支援委員会において、学部を越えた全体的・長期的な視点での教育計画を考え、指導・支援の適切な方向性を見出す。 ○校内教育支援委員会での検討内容を各学部、各教科に還元し、適切な対応を具体化し実行する。	A 質問11 91.0%		・学部や教科をまたいで、児童生徒の教育計画や教育環境について検討を続けていく。 ・年4回計画されていた委員会を年2回に精選する。必要な検討は各学部で細かく行い、その後、全体で情報を共有していく。	A 質問11 95.4%		・必要に応じて会議を開催し、情報の共有が図れなかったということがないように、各学部での検討事項については、職員会議を利用して情報共有を行っていく。
8 障害に配慮した教育環境の整備が行われていますか。		⑯視覚障害などに配慮して校内の施設・設備の整備が行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	管理部 事務部	○様々な視覚に対応できるように適宜必要なものを連絡報告相談をして対応していく。 ○緊急性の高いものから順次整備を行う。	A 質問12 98.4%	A 保護者質問7 95.0%	・倒壊しやすいものを移動し、整理整頓を行っている。 ・コロナ対策の換気と熱中症対策として、全ての教室と職員室に、熱中症に対する扇風機を設置した。	A 質問12 94.0%	A 保護者質問7 95.0%	・倒壊しやすいものを移動し、整理整頓を継続して行っている。 ・消防車の点検で改善命令が出た傘立ての位置を適切な場所へ移動した。 ・備蓄品の入替を行った。個人用の備蓄品の入替もアナウンスした。
V 健康や安全の確保に努めていますか。	9 健康に関する配慮や対応を適切に行っていますか。	⑰幼児児童生徒の健康状態や安全への対応が適切に行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	健康 指導部	○新型コロナウイルス感染症拡大防止をはじめとする保健環境の整備を行い、学校生活の安全確保の強化を組織的、計画的に行う。 ○学部・保護者・寄宿舍と連携して健康状態を把握し、適切に対応する。 ○学校給食を通して、食事の大切さや望ましい食習慣を習得させ、健康教育を推進する。	A 質問13 95.4%	A 保護者質問8 100%	・朝と帰りの検温、手洗いの励行、教室の換気と消毒等の感染症予防対策を周知徹底して、安全な環境整備に努めた。保護者にも感染症予防対策について情報提供をし、家庭での検温や体調管理等の協力を得ることができた。 ・学校・家庭・寄宿舍との連携を図りながら日々の健康状態の把握に努め、その対応を継続していく。 ・学校給食を通して、実態に即した健康教育を推進していく。	A 質問13 96.0%	A 保護者質問8 100%	・朝と帰りの検温、手洗いの励行、教室の換気・加湿・消毒等の感染症予防対策を周知徹底して、安全な環境整備に努めた。保護者にも感染症予防対策について情報提供をし、家庭での検温や体調管理等の協力を得ることができた。 ・食に関する全体計画、各学部別年間計画を作成し職員へ周知した。給食を通して食の大切さについて周知することができた。
	10 危機管理体制が確立され、緊急時への備えができていますか。	⑱緊急時の対応や施設・設備の安全に備えた訓練や点検が行われていると感じる職員が80%以上いる。	管理部 寄宿舍	○消防署と連携をとり、訓練前にアドバイスや点検を行う。 ○毎月の安全点検と備蓄品チェックを行う。 ○アレルギー対応を教室掲示し、緊急対応に備える。			・水害時の避難方法を職員間で共有した。 ・突発的な災害を想定した予告なしの訓練の実施が課題である。 ・非常時に持ち出すものをなるべく一括しておく。AEDの設置場所がわかるように表示した。			・倒れそうな棚を固定する計画を立てた。 ・水害、ミサイルなどの観点を入れて安全計画を見直した。 ・規格に適合している機器なのかガス器具の点検を行った。 ・ヘルメットを活用しやすい場所に再設置し直した。
VI 将来の生き方に結びつく進路指導を行っていますか。	11 キャリア教育の視点から、指導内容を整理して系統的な指導を行っていますか。	⑲キャリア教育の視点に立って将来を見据えた系統的な指導が行なわれていると感じる職員が80%以上いる。	進路 指導部	○「キャリア教育全体計画」の内容を各教員が理解し、保護者に説明して共通理解を図る。 ○キャリア教育の視点に立った具体的な指導・支援を授業に反映する。	A 質問14 94.4%		・児童生徒の進路指導を支援する。 ・個別の進路行事を円滑に実施するために、保護者への理解と協力を依頼する。 ・連携できた支援者や関係機関との情報共有、協働を進めていく。	A 質問14 97.7%		・キャリアパスポートを作成する過程で、本人、保護者、担任、寄宿舍担当が将来を見据えて一環した関わりができるよう努力する。 ・高等部卒業後の進路について、生徒ひとり一人に応じた進路指導を行う。
		⑳あんま・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師国家試験に全員合格する。	専攻科	○日頃の授業、定期テスト、模擬試験等を通じて生徒一人一人の実態を把握し、個人にあった指導法と支援法を検討する。 ○補習を通して学力向上に努める。			・模擬試験結果を活かし、苦手科目の克服を主とした国家試験対策を行う。 ・学力向上と共に、理療師として研鑽する意識を培えるようように指導していく。			・第29回国家試験から問題教と傾向が変わるので、問題を分析して試験対策を強化する。 ・生徒の実態を把握し、卒業後の進路を見据えた指導を展開していく。
	12 保護者、関係機関との連携のもとに発達段階に応じた進路指導を行っていますか。	㉑発達段階や実態に応じた一人ひとりの将来へ向けての指導（あいさつや清掃等の指導も含む）が行われていると感じる保護者・職員が80%以上いる。	進路 指導部	○発達段階や実態に応じた個別進路行事を実施する。 ○各関係機関との連携を深め、一人ひとりの実態にあった進路指導を実現する。 ○進路講話、「進路だより」等で進路情報の提供を積極的に行う。	A 質問15 98.2%	A 保護者質問9 90.5%	・個別に対応する進路行事を円滑に実施するために、保護者への理解と協力をお願いしていく。 ・連携できた支援者や関係機関との情報共有、協働を進めていく。 ・進路に関する外部の情報提供も行っていく。	A 質問15 99.9%	A 保護者質問8 100%	・個別の進路指導を充実させ、児童生徒の進路を決定していく。 ・外部の関係機関との連絡を密にし指導に役立つ。 ・新入生の児童生徒の保護者に「進路の手引き」を配布し進路についての情報を提供していく。
VII 将来の自立に結びつく寄宿舍指導を行っていますか。	13 身辺自立・社会自立に向けての指導を個に応じて行っていますか。	㉒身辺自立や社会自立に向けた指導が一人ひとりに応じて個別に行われていると感じる保護者・教職員が80%以上いる。	寄宿舍 自立研修 グループ	○卒業後の生活自立、余暇の充実に向けて、社会体験を拡充し、工夫した支援・指導を実施する。 ○寄宿舍便り等を通じて、寄宿舍生活における具体的な取組状況を発信する。	A 質問16 98.5%	A 保護者質問10 100%	・舎内外における、新しい生活様式の確立を前提とした、社会体験を実施に取り組んでいる。感染の状況を見ながら、徐々に経験を増やしていく。 ・行事がほとんど行えないため、日常生活の様子も発信していく。	A 質問16 97.6%	A 保護者質問8 100%	・新型コロナの関係で、行事は体験等はほとんど実施できなかったが、新しい生活様式を実践しながらの生活体験等を実施した。 ・行事は少なかったが、日常生活の様子を伝えた。